

史跡佐渡金銀山遺跡整備基本計画書 概要版

①計画策定の経緯と目的

史跡佐渡金銀山遺跡では、史跡指定地が広域に所在しており、各遺跡や要素の保存状態に格差が見られている状況を踏まえ、平成28年3月に保存管理計画が策定された。

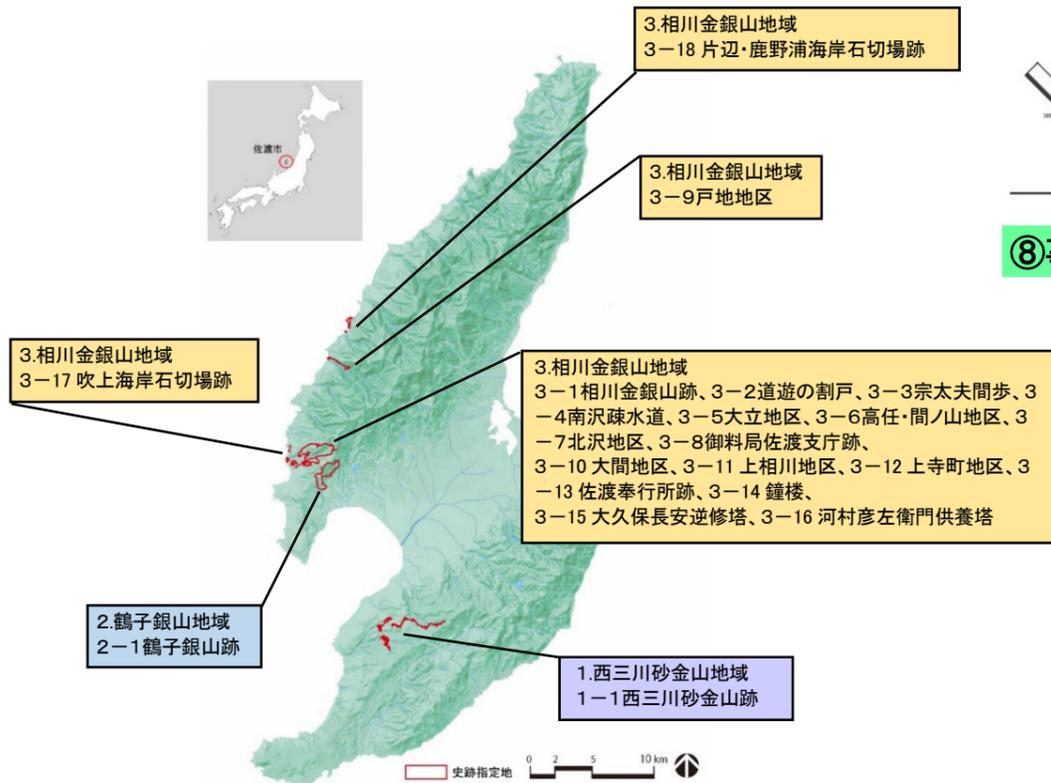
本計画は、保存管理計画で定められた方針に則り、史跡の本質的価値を継承し、魅力的な保存・活用を図るため、史跡の一体的な整備に必要となる基本事項について定めるものである。

②関連計画との関係

- ・佐渡市全体の上位計画：佐渡市将来ビジョン
- ・佐渡市全体の計画：佐渡市歴史文化基本構想
- ・文化財関係の計画：史跡佐渡金銀山遺跡保存管理計画 等

③史跡佐渡金銀山遺跡の概要

史跡佐渡金銀山遺跡は、中近世から近現代に至る約400年間にわたり操業された金銀鉱山の、技術、経営、鉱山に関わった人々の生活の変遷の歴史を示す遺構が、佐渡という1つの島で点在しながらも、それぞれ良好に残る、我が国を代表する金銀山遺跡である。平成6年に国の史跡に指定されて以降、今日に至るまで追加指定を受け、現在は、「西三川砂金山地域」「鶴子銀山地域」「相川金銀山地域」という、3つの鉱山を中心とする地域から構成される。



図：史跡整備計画の対象範囲図

④整備に関する課題

- <保存に関わる整備の課題>
- ・樹木や下草の繁茂が及ぼす地上遺構への影響
 - ・RC造及び鉄骨造、石造建造物の劣化
 - ・山間に埋没する遺構の価値の顕在化の必要性 等
- <活用に関わる整備の課題>
- ・活用を考慮した建造物の補修・修理の必要性
 - ・公開のための便益施設や駐車スペースの確保
 - ・統一されたサイン等の整備の必要性 等

⑤整備の基本理念と基本方針

- <基本理念>
- ・史跡佐渡金銀山遺跡の本質的価値を保存する。
 - ・広く公開・活用するための整備と調査研究を行う。
 - ・鉱山の景観を保護し、史跡とその周辺環境を適切に保全する。
 - ・住民や来訪者に親しまれる史跡を目指す。
- <基本方針>
- ・史跡の価値や特性を正しく伝え、確実に未来に継承する。
 - ・鉱山集落や町並みとの一体的な景観を形成する。
 - ・史跡の価値を発信し、活用と地域の活性化を目指す。

⑥案内・解説施設に関する整備

デザインを統一した案内・解説施設を設置する。

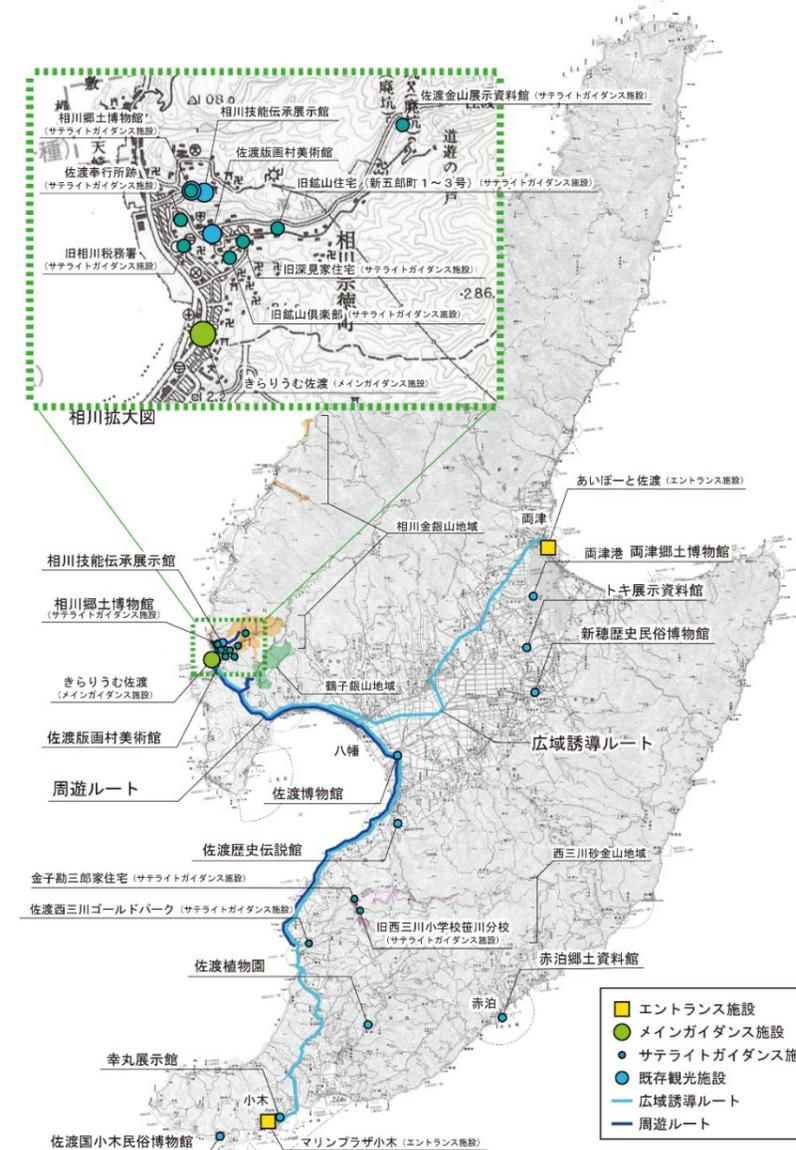


図：サインデザインの例

⑧事業計画

| | 第1期事業 | | 長期計画 | |
|----|--|--|--|-------------------------------|
| | 短期計画(概ね5年間) | 中期計画(概ね10年間) | | |
| 概要 | 史跡の価値の理解に効果的なもの、保存に緊急性を要するもの、整備条件が整っているものに対して行う。 | 経費が高額となるもの、重要文化財修理事業の進捗に併せて実施する必要があるものに対して行う。 | 課題解決の進捗状況を確認し、第1期事業終了までに第2期整備基本計画を策定したうえで実施する。 | |
| 地域 | 西三川砂金山地域 | ・案内・解説サイン設置事業 ・旧西三川小学校笹川分校整備事業 ・砂金採掘遺構や砂金採掘に関係した地下遺構の調査及び整備 ・金子勘三郎家住宅整備事業 | | - |
| | 鶴子銀山地域 | ・自己処理型トイレ設置事業 ・案内・解説サイン設置事業 ・銀生産の採掘に関する遺構や鉱山経営システムに関する遺構の調査及び整備 | | - |
| | 相川金銀山地域 | ・本質的価値を構成する要素の劣化状況調査による保存整備の優先順位の明確化 ・相川郷土博物館(御料局佐渡支庁跡)整備事業 ・佐渡奉行所整備事業 ・案内・解説サイン設置事業 ・歴史文化資源情報発信事業 ・車両進入抑止サイン設置事業 ・弥十郎駐車場再整備事業 | | ・要素別整備計画策定事業 ・旧相川税務署保存修理事業 |
| | ・旧佐渡鉱山採掘施設保存活用整備事業 ・史跡佐渡金銀山遺跡保存活用整備事業 | ・金銀生産の採掘に関する遺構や鉱山経営システムに関する遺構の調査及び整備 ・重要文化的景観整備事業 ・拠点施設整備事業 | | |

⑦公開・活用のための施設の位置付けと動線の設定



図：公開・活用のための施設と島内動線イメージ図

西三川砂金山地域

| 整備区分 | 整備方針 | 整備イメージ |
|------|----------------------------------|--|
| 保存整備 | 砂金採掘遺構の保全 | <ul style="list-style-type: none"> 佐渡独自の砂金採掘技術「大流し」の遺構を保存するため、植物管理と斜面崩落防止措置及び落石対策を行う。 砂金の生産工程を示す要素(水路一堤一稼場)の適切な保存と顕在化を行う。 |
| | 砂金山操業時からの歴史を物語る集落景観の保全 | |
| 活用整備 | 来訪者理解を促進するための施設機能の整備 | <ul style="list-style-type: none"> サテライトガイダンス施設の整備を行う。 ガイドツアーによる公開を原則とする。このため、解説ポイントにガイドが説明のツールとして使いやすく、セルフガイドでも理解できる解説機能を整備する。 非公開範囲については、可能な限りサテライトガイダンス施設で情報提供する。 遺構の顕在化(一部地上遺構周辺の草木除去)を行う。 |
| | 砂金生産のシステム及び集落の歴史を伝えるためのモデルコースの整備 | |



笹川集落エリア 金子勘三郎家住宅整備事業イメージ図①



笹川集落エリア 金子勘三郎家住宅整備事業イメージ図②

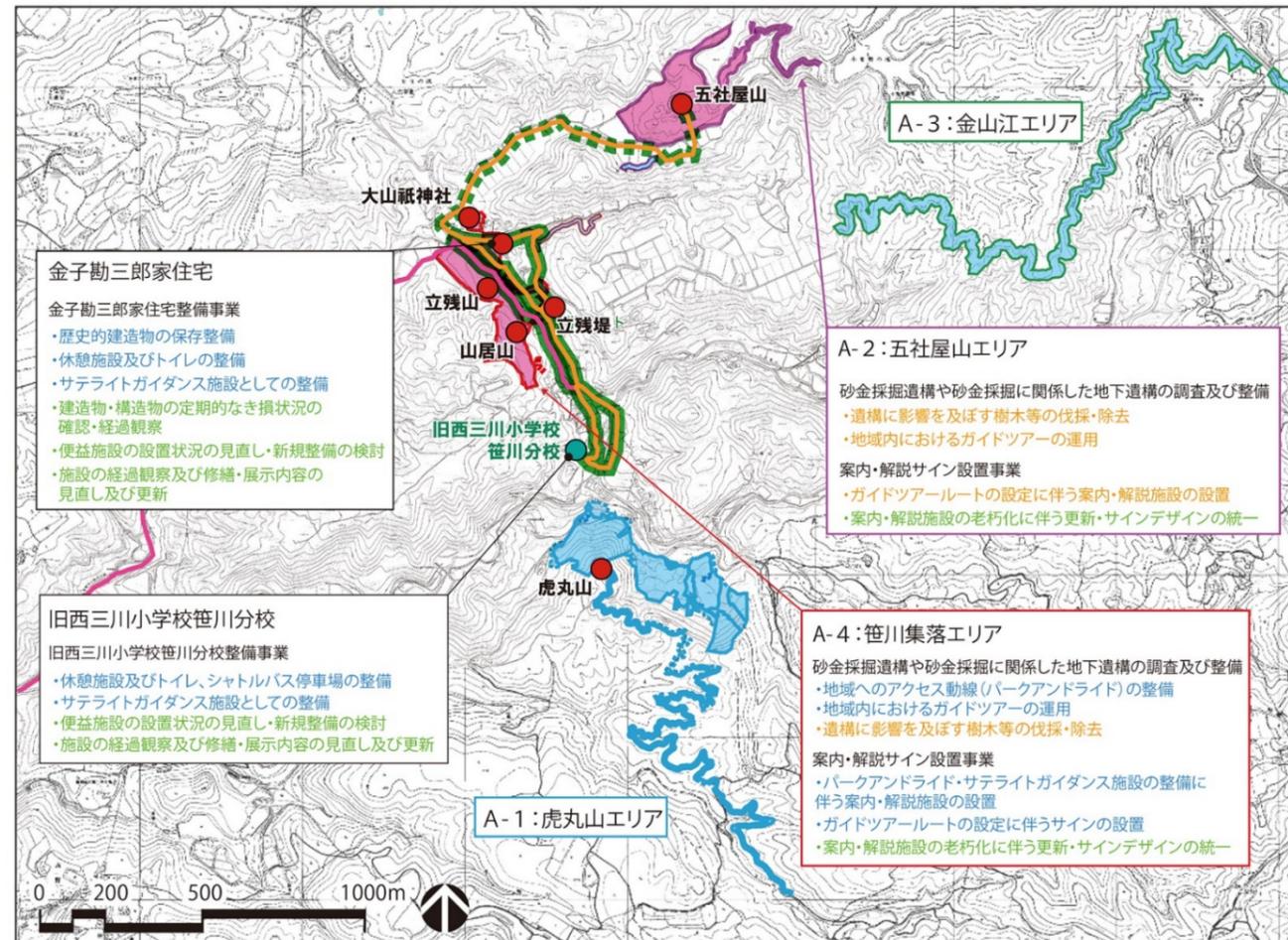


図: 西三川砂金山地域 整備計画図

鶴子銀山地域

| 整備区分 | 整備方針 | 整備イメージ |
|------|--------------------------------|---|
| 保存整備 | 銀生産の鉱山経営システムに関する遺構の保存 | <ul style="list-style-type: none"> 銀鉱山のシステムを構成する要素(採鉱・選鉱・製錬・管理・鉱山集落)の地上遺構及び地形を保存する。 遺構の顕在化のため、植生管理をする。 港から銀山を経て相川へと至る古道の現状を維持する。 |
| 活用整備 | 来訪者理解を促進するための施設機能の整備 | <ul style="list-style-type: none"> ガイドツアーによる公開を原則とする。このため、解説ポイントにガイドが説明のツールとして使いやすく、セルフガイドでもある程度理解できる解説機能を整備する。 非公開範囲については、可能な限りサテライトガイダンス施設で情報提供する。 遺構の顕在化(一部地上遺構周辺の草木除去)を行う。 |
| | 銀生産に関する鉱山経営システム理解のためのモデルコースの整備 | |



図: 鶴子銀山地域 整備計画図



大滝エリア 案内・解説サイン設置事業イメージ図



【事業計画期間】
短期計画 → 中期計画 → 長期計画

相川金銀山地域

| 整備区分 | 整備方針 | 整備イメージ |
|------|--|---|
| 保存整備 | 金銀生産システムに関わる遺構及び遺跡の保全 | <ul style="list-style-type: none"> 各種採鉱法(大規模露頭掘り、坑道掘り)の痕跡や景観を維持するため、植物管理と斜面崩落防止措置及び落石対策を実施する。 一連の生産工程を示す遺構を保存する。 金銀生産の各工程を示す一連の鉱山施設の現状を維持しつつ、記録化を行った上で、それぞれの施設の機能を顕在化させる整備を実施する。 鉱山集落の特徴を示す地形や建造物、構造物、石造物等を保存すると共に顕在化(支障草木の除去等)し、周辺景観との調和と保全を図る。 地下遺構の内容把握のための計画的な発掘調査を実施する。 |
| | 鉱山操業時からの歴史を物語る町の景観の保全 | |
| 活用整備 | 来訪者理解を促進するための施設機能の整備 | <ul style="list-style-type: none"> 奉行所跡の復元施設を活用し、体験的な展示及び解説を充実させる。 石切場の石の切出し痕の価値をガイダンス施設等で解説する。 常時公開中の鉱業権者による観光坑道やガイドツアー、奉行所を活用した公開を継続する。 鉱山集落や町並み、鉱山技術、管理施設の要素を巡るモデルコースを定期的にガイドツアーで案内解説する。また、解説機能を整備する。 作業工程全体はきらりうむ佐渡で紹介し、これと連動した解説機能を整備する。 金銀生産の作業工程順や鉱山に由来する町並みを巡ることのできるモデルコースを設定し、セルフガイドによる訪問を基本とした整備を行う。 ガイドツアーによる公開を行っている箇所(大立堅坑櫓、捲揚機室)は、解説機能の充実を図りつつ、現況の公開方法を継続する。 施設内に入る又は接近して見学することが困難な施設は、現地に古写真や映像などを用いた稼働時の状態を視覚的に解説する機能を整備する。 活用のための遺構の顕在化(一部地上遺構周辺の草木除去)を行う。 発掘調査等の成果を解説サインや普及啓発活動に反映する。 |
| | 金銀生産システムの理解及び鉱山に由来する町の歴史を伝えるためのモデルコースの整備 | |



北沢エリア 案内・解説サイン設置事業イメージ図



佐渡奉行所跡エリア 佐渡奉行所跡整備事業イメージ図

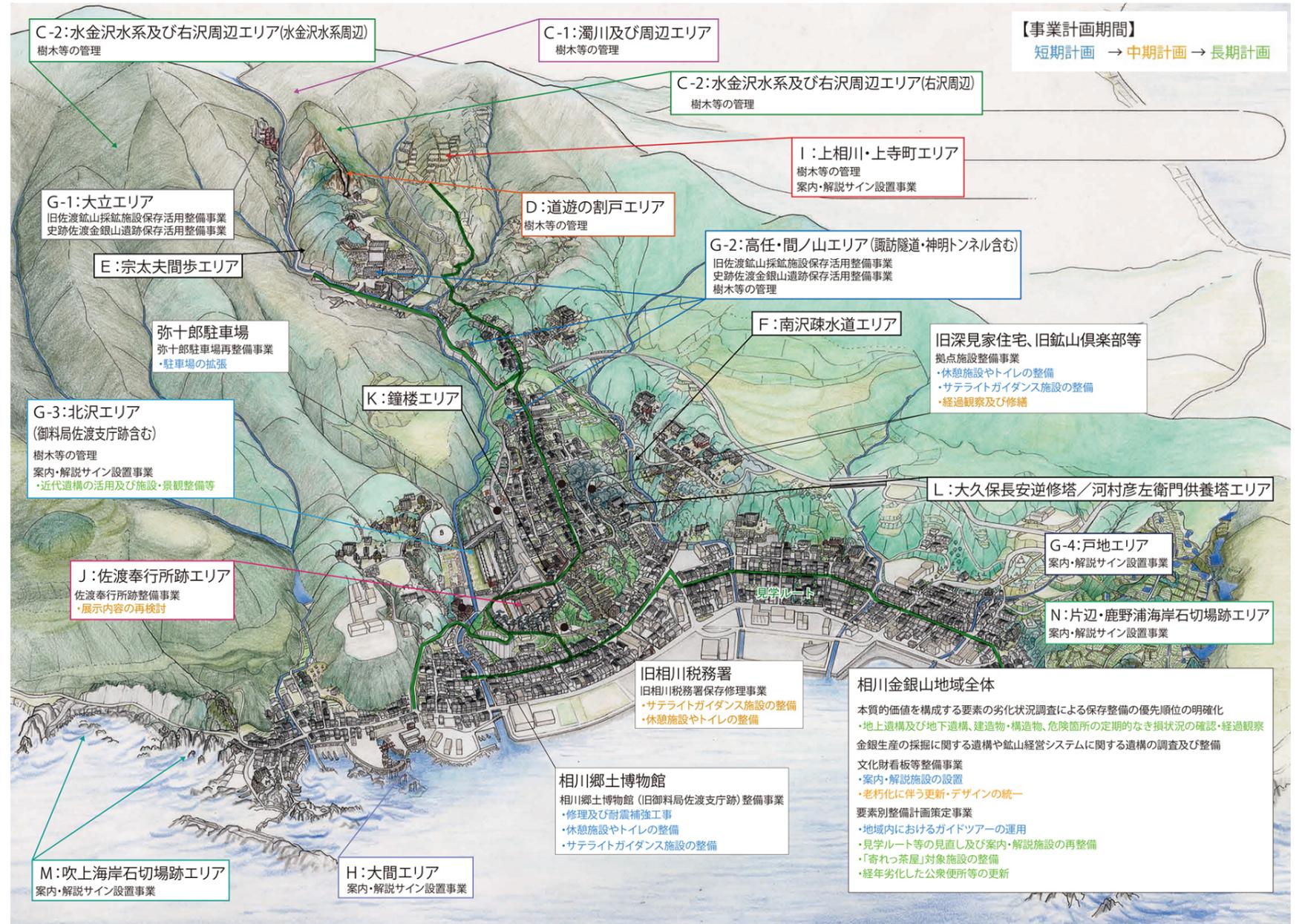


図: 相川金銀山地域 整備計画鳥瞰図